

# News Letter

学校法人兵庫医科大学ダイバーシティ推進室

## Pick up

2024年度 兵庫医科大学(医学部)  
「女性医師・研究者顕彰」授賞式

## News & Topics

- 第2回 近畿地区 近隣医科大学 医療職サポート事業 共同フォーラム
- クラウドファンディング利用報告(2024年度)

## Report

- 「女性医師のキャリアアップ支援が医療界の持続可能な未来を拓く」
- コーティングセミナー「NLP vs コーティング vs 行動経済学」



### Pick up

## 2024年度 兵庫医科大学(医学部) 「女性医師・研究者顕彰」授賞式



日時: 2025年2月26日 場所: 西宮キャンパス202講義室

兵庫医科大学(医学部)「女性医師・研究者顕彰」は、優れた教育・研究・臨床活動を行い、ダイバーシティ推進に取り組む女性医師・研究者、また熱意をもって研究に取り組む若手を顕彰することで、次世代のリーダーや科学技術の発展に貢献する研究者の育成を目的としています。今年度は7名の受賞者を選出しました。

授賞式では、ダイバーシティ推進担当副学長の挨拶に続き、推進室長より今年度の推進事業報告がありました。その後、表彰と代表者による受賞スピーチが行われ、研究成果のほか、自身を成長させた出来事や出会い、出産・育児・介護とキャリアの両立など、女性研究者が直面する困難にも前向きに乗り越えてきた経験が語られ、後輩たちを勇気づけるメッセージとなりました。最後にダイバーシティ推進本部長の鈴木学長より、全体の講評と学生や若手医師・研究者に向けた「自分の可能性に限界を作らず、時には野心的にチャレンジして欲しい」との激励がありました。



## 2024年度受賞者

※ 所属・職位は受賞時のもの

受賞名	所属	職位	氏名
トップリーダー部門 ロールモデル賞	生化学	教育教授	藤原 範子
トップリーダー部門 ロールモデル賞	消化器外科学 (小児外科)	准教授	田附 裕子
トップリーダー部門 次世代リーダー賞	健康医療学	臨床講師	中村 久美子
トップリーダー部門 次世代リーダー賞	脳神経外科学	助教	飯田 倫子
学術部門 女性研究者学術賞 優秀賞	胸部腫瘍学	特任講師	米田 和恵
学術部門 女性研究者学術賞 優秀賞	先端医学研究所 神経再生研究部門	助教	土居 亜紀子
学術部門 女性研究者学術賞 準奨励賞	社会医学 予防医学部門	助教	江川 可純

## News & Topics

## 第2回 近畿地区 近隣医科大学 医療職サポート事業 共同フォーラム



日時: 2024年12月18日 形式: オンライン(Zoom) 参加者: 26名

参加大学: 大阪医科薬科大学、関西医科大学、京都府立医科大学、滋賀医科大学、奈良県立医科大学、兵庫医科大学

関西医科大学、京都府立医科大学主催の共同フォーラムへ参加し、医科大学におけるダイバーシティ推進や女性医師・研究者の活躍促進について情報交換を行いました。

今回は「医師の働き方改革と支援制度の取り組み」、「女性医療職のキャリア支援とジェンダー平等の推進」、「情報発信とイベント企画のノウハウ」の3テーマについて、各大学が実施状況を説明した後、質疑および課題解決へのディスカッションが行われました。

同じ医科大学でダイバーシティ推進に携わる教員やスタッフが、このような機会に交流を深め課題を共有することは、問題の解決や新たな取り組みのヒントに繋がり、たいへん有意義なフォーラムとなりました。今回得られたノウハウや情報などを今後の事業推進に活かしていきたいと思えます。



## クラウドファンディング利用報告(2024年度)

2023年度に実施したクラウドファンディング「出産・育児でキャリアを諦めない! 研究支援で『明るい未来』を応援」でのご寄付を原資とした研究支援員配置制度を実施し、2024年度は4名が利用しました。

研究データ整理などの事務補助のほか、新設の「テクニカルプラン」を利用したテクニシャンの派遣で、PCR検査、DNA抽出などの実験補助・データ測定など、ライフイベントと仕事を両立しながら、意欲的に研究に取り組む医師・研究者の支援をすることができました。

今後も、より多くの医師・研究者が利用できるよう、本制度の周知に努めて参ります。



2024年度利用者 ●事務補助プラン：3名 ●テクニカルプラン：1名

### 利用者の感想(抜粋)

- 自宅に持ち帰ってデータ整理をすることが激減し、これまで犠牲になっていた子どもとの時間が確保できるようになった。
- データ入力が進むだけでなく、勤務時間以外は家事・育児に追われる中でも研究に携われるという、心理的な支援をもらえた。
- 研究補助業務を分担してもらうことで、子育てと診療のバランスが改善され、あきらめかけていた研究活動がふたたび進められる環境を整えてもらい、感謝している。



※READYFOR株式会社の兵庫医科大学ダイバーシティ推進室プロジェクトページより、利用者の体験談がご覧いただけます。

[https://readyfor.jp/projects/hyomed\\_nanairo/announcements](https://readyfor.jp/projects/hyomed_nanairo/announcements)



### Report

## ダイバーシティ推進 SD 講演会

### 「女性医師のキャリアアップ支援が医療界の持続可能な未来を拓く」

日時：2024年12月18日

講師：筧 善行先生 / 香川大学 前学長、名誉教授、イノベーションデザイン研究所 所長



本講演会では、女性医師を取り巻く歴史の変遷や現状の課題から、筧先生ご自身の講座運営時のエピソード、更には香川大学で取り組まれている、ライフイベント中の女性医師の働き方を支援する具体的な取り組みなどについてご講演いただきました。

役員をはじめ、管理職教員、女性医師・研究者などを中心に幅広い方が聴講し、短時間勤務の女性医師に対する支援策について質疑応答が行われるなど、本学の今後の取り組みに向けて、示唆に富む大変貴重なお話を伺うことができました。

### コーチングセミナー「NLP vs コーチング vs 行動経済学」

日時：2025年1月23日

講師：蓮沼 直子先生 / 広島大学医学部附属医学教育センター長、同大学院医系科学研究科 教授、本学特別招聘教授



本セミナーはオンラインで開催し、56名が参加しました。また、当日業務などで参加できない教職員のために、E-Learningによる配信を行いました。セミナーでは、NLP=Neuro Linguistic Programming(神経言語プログラミング)とコーチングのそれぞれの考え方から、日常生活やビジネス、教育の現場でのコミュニケーションに活かせるスキルを具体的な事例で学びました。また行動経済学から、人の行動に影響を与える「ナッジ理論」などをご紹介いただきました。

### 参加者の感想(抜粋)

- 仕事でも家庭でも役に立つお話でした。よい質問をして、相手を促すように努めていきたいです。
- コーチングは相手の行動を引き出すスキルであり、そのためには日頃のコミュニケーションが重要であると感じました。「食べてはいけない」ではなく「後で一緒に食べよう」と言い換えるだけで、子どもは待つことができるという事例を聞き、言葉の選び方は大切だと思いました。
- 行動経済学とても興味深かったです! 学生教育にも活用できそうだと思います。



※その他、公式ホームページの活動報告もご覧ください。

### 編集後記

3月8日の国際女性デーを前に、今年度の女性医師・研究者顕彰の授賞式を執り行いました。会場には、日ごろ共に働く医療スタッフも駆けつけて受賞者の写真を撮影するなど、とても和やかな式となりました。

また、12月に香川大学前学長の筧 善行先生を講師にお招きした女性医師のキャリア支援に関するセミナーでは、女性が在籍する部署の上長や管理職が、女性医師支援や柔軟な働き方に対応する医局運営について熱心に耳を傾けていました。

令和2年度に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)」事業は5年が経過し、少しずつですが、教職員へのダイバーシティに対する意識が浸透していると感じます。次年度は事業最終年度となります。今後とも宜しくお願いいたします。

### 発行

兵庫医大 ダイバーシティ | 🔍

学校法人兵庫医科大学 ダイバーシティ推進室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1

TEL : 0798-45-6428 (直通)

E-mail : danjyo-kyodo@hyo-med.ac.jp

URL : <https://www.hyo-med.ac.jp/corporation/about/activity/diversity/office/>

